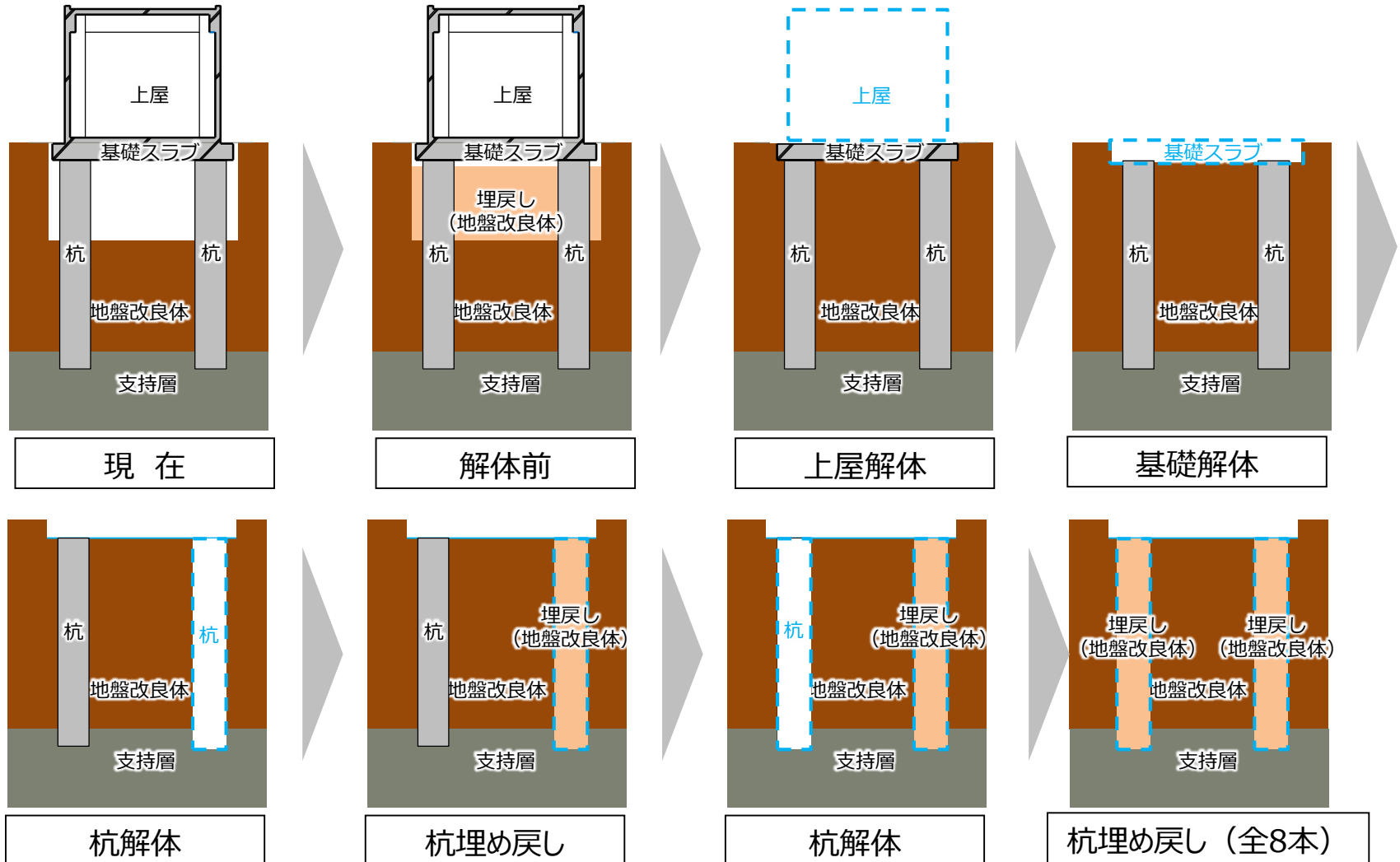


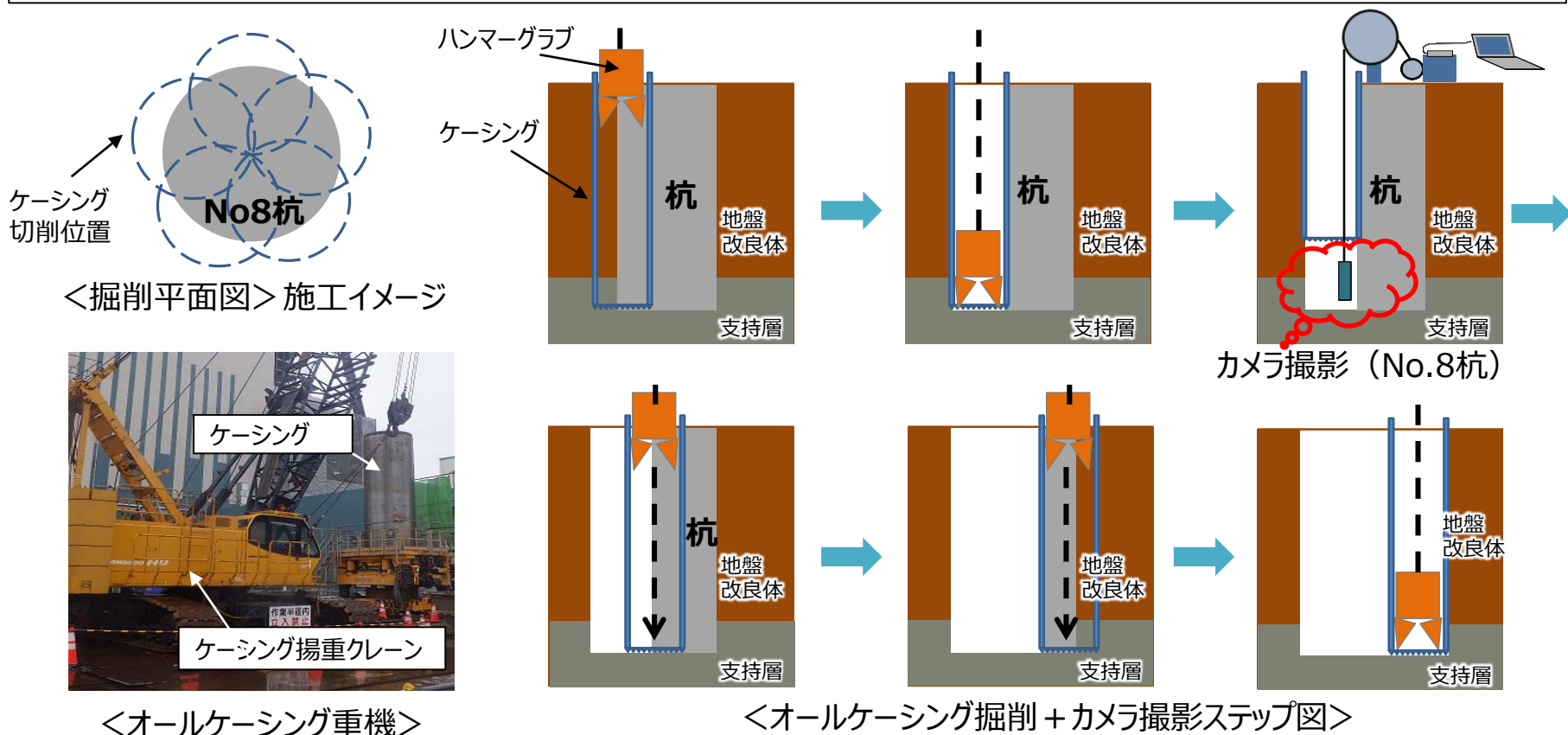
1. 6号機大物搬入建屋の解体工事について

- 安全に解体工事を進めるため、基礎下の掘削箇所を埋め戻し、まずは上屋等を解体する
- その後、既設の杭を解体し取り除いた後、地盤改良体で埋め戻す
- 新たに大物搬入建屋を建築するにあたっては、あらためて杭を新設する



2. 6号機大物搬入建屋の基礎杭の撤去方法

- 杭の撤去にあたっては人身安全確保を最優先に考え、地上から解体工事が可能なオールケーシング工法※1を採用
- 解体した全ての杭の状態を確認しながら作業を進めると共に、杭頭部で損傷の大きかったNo.8杭は、撤去工事の過程でケーシング内にカメラを吊り降ろし、写真撮影する等の記録方法を検討中



※1 オールケーシング工法：筒型の機械（ケーシング）を回転させながら地中に押し入れ、それによって孔壁を保護しながら、筒内の杭や地盤改良体をハンマーグラブ※2によってつかみ上げ地上に排出する工法

※2 ハンマーグラブ：その重量によって地盤に落下させて食い込ませ、土砂などをつかみ取り掘削する器具